

平成 30 年度事業報告書

学校法人総合技術学園

札幌科学技術専門学校

目次

I 法人の概要	2
1. 法人の名称	2
2. 設置する学校	2
3. 所在地	2
4. 沿革	2
5. 役員概要	3
6. 評議員概要	3
7. 教職員数	4
II 法人の事業の概要	4
1. 理事会・評議員会の開催状況	4
2. その他	4
III. 札幌科学技術専門学校 の事業概要	4
1. 教育理念	4
2. 定員及び在籍数	5
3. 高等課程	5
4. 専門課程	6
IV. 財務の概要	9
1. 事業活動収支計算書	9
2. 貸借対照表	10
1. 財産目録	10

I 法人の概要

学校法人総合技術学園は昭和 62 年に北海道知事から認可を受けて設立され、以来、多彩な学科を擁する工業系の総合専門学校である札幌科学技術専門学校の設置者としてその運営を担ってきました。札幌科学技術専門学校は、一般的な専門学校が持つ専門課程に加え、中学校卒業者を対象とした高等課程を設置しており、その双方で独自性、専門性の高い教育プログラムを展開しています。

我々はこの学校を支える組織として、教育活動が学生・生徒一人一人へ及ぼす影響の重さに対する畏怖を忘れず、真になすべきことを模索し続け、その責務を全うすること、これらを念頭に置きながら学校運営に携わってまいります。

1. 法人の名称

総合技術学園

2. 設置する学校

札幌科学技術専門学校

高等課程

専門課程

3. 所在地

法人事務局、札幌科学技術専門学校本校舎

札幌市中央区大通西 17 丁目 1 番地 22

自動車実習棟

札幌市中央区北 1 条西 18 丁目 1 番地 35

北校舎

札幌市東区北 24 条東 1 丁目 3 番地 12

4. 沿革

昭和 62 年 12 月 札幌科学技術学園 設立（北海道知事認可）

昭和 62 年 12 月 札幌科学技術専門学校 認可

昭和 63 年 4 月 札幌科学技術専門学校 開設

平成 7 年 12 月 高等課程 認可

平成 7 年 12 月 高等課程 開設

平成 15 年 8 月 総合技術学園へ改称

平成 16 年 4 月 北校舎 開設

5. 役員概要

定員 理事 7名 監事 2名

職名	氏名	常勤・非常勤の別	選任区分
理事長	興野 昌樹	常勤	3号
理事	児玉 佳範	常勤	1号
理事	片岡 清三	非常勤	2号
理事	白鳥 崇夫	非常勤	2号
理事	棚橋 邦雄	非常勤	2号
理事	和田 幸久	非常勤	2号
理事	伊藤 誠夫	非常勤	3号
監事	阿部 典紀	非常勤	
監事	大沼芳徳	非常勤	

- 1号 この法人が設置する札幌科学技術専門学校長
 2号 評議員のうちから評議員会において選任した者
 3号 学識経験者のうちから理事会において選任した者

6. 評議員概要

定員 17名 (1名欠員)

氏名	選任区分	氏名	選任区分
瓜谷 弘紀	1号	坂田 潤一	2号
笠島 史生	1号	鈴木 信義	3号
外山 健	1号	棚橋 邦雄	3号
東海 賢司	1号	興野 昌樹	3号
山崎 早智子	2号	和田 幸久	3号
須田 愛弓	2号	片岡 清三	3号
齊藤 忍	2号	白鳥 崇夫	3号
飯田 義之	2号	児玉 佳範	3号

- 1号 法人の職員で理事会において推薦された者の中から、評議員会において選任した者
 2号 この法人の設置する学校を卒業した者で年齢 25 年以上のものの中から、理事会において選任した者
 3号 学識経験者の中から、理事会において選任した者

7. 教職員数

	本務	兼務
教員	35	54
職員	13	*11

*校務及び清掃パート

II 法人の事業の概要

1. 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

日時	議題
平成 30 年 5 月 30 日	平成 29 年度事業報告について 平成 29 年度決算および監査報告について
平成 30 年 12 月 6 日	平成 30 年度上半期事業報告について 平成 30 年度上半期決算報告について
平成 31 年 3 月 27 日	平成 31 年度事業計画案について 平成 31 年度予算案について 学則変更について

(2) 評議員会

日時	議題
平成 30 年 5 月 30 日	平成 29 年度事業報告について 平成 29 年度決算および監査報告について
平成 30 年 12 月 6 日	平成 30 年度上半期事業報告について 平成 30 年度上半期決算報告について
平成 31 年 3 月 27 日	平成 31 年度事業計画案について 平成 31 年度予算案について 学則変更について

III. 札幌科学技術専門学校の実業概要

下記の教育理念のもと、高等・専門の課程ごとに教育目標を定め、さらに教育方針を立てて運営にあたっています。

1. 教育理念

「清明・誠実・情熱」

2. 定員及び在籍数（平成 30 年 5 月 1 日現在）

学科	昼夜種別	修養年限	入学		在籍	
			定員	入学者数	定員	在籍数
高等課程						
総合技術	昼	3	50	42	150	114
専門課程						
自然環境	昼	2	20	7	40	14
建築技術	昼	2	20	12	40	28
バイオテクノロジー	昼	2	20	8	40	23
海洋生物	昼	2	20	27	40	53
電気技術	昼	2	40	21	80	47
情報システム	昼	2	20	18	40	39
自動車工	昼	2	120	41	260	106
自動車工	夜	3	20	9	*40	19
研究	昼	1	25	4	25	4
計			355	189	755	447

*完成年度が平成 31 年度のため、30 年度は第 1 学年、第 2 学年の在籍定員。

3. 高等課程

高等課程では情報技術分野・環境バイオ分野・電気分野・自動車分野の一つを第 2 学年から選択し、それぞれの専門分野での基礎を身に付けられるよう、カリキュラムを組んでいます。また、技能連携制度による広域通信制の高等学校、科学技術学園高等学校にも在籍するため、普通科高等学校卒業資格も得られます。

(1) 教育目標、教育方針

教育目標

「一人ひとりの人間を大切にし、『生きる力』を育てる」

教育方針

- ① 個性の尊重
- ② 基礎・基本事項の徹底
- ③ 技術教育の奨励
- ④ 高・専一貫教育の推進

(2) 平成 30 年度の状況、実績

① 進級

2 年への進級率 100%

3 年への進級率 90%

② 進路指導

卒業時に進路未定者は1名のみ。

③ 進学

千歳科学技術大学 理工学部

札幌科学技術専門学校

ヒューマンアカデミー札幌校

北海道情報専門学校

④ 就職

株式会社 es

防衛省 海上自衛官

有限会社白木刃物

⑤ クラブ活動等

バドミントン部

定時制通信制体育連盟石狩支部大会

個人戦2名

新人大会 個人戦3名 内1名ベスト8

4. 専門課程

建築、自動車、電気、情報といった工業系の主要な分野に加え、自然環境、バイオテクノロジー、海洋生物、自動二輪車といった、特色ある学科を揃えています。二級自動車整備士コースでは道内唯一の夜間課程を設置しているなど、社会の状況に対応するきめこまかい教育を実施しています。

(1) 教育目標、教育方針

教育目標

技術・知識・人間性などあらゆる面で、実社会に必要とされる技術者を育てる

教育方針

① 個性の尊重

② 実技の重視

③ 成功体験の付与

④ 人間教育の推進

⑤ 最新技術への挑戦

(2) 平成 30 年度の状況、実績

① 資格取得状況 (一部)

建築技術学科

二級建築士学科試験・製図試験など。

建築 CAD 検定 3 級は合格率 84%、2 級は合格率 92%

自然環境学科

公害防止管理者水質第 4 種、生物分類技能検定 3 級・4 級、
環境測定分析士 3 級、毒物劇物取扱責任者など。

2 級ビオトープ管理士は合格率 100%

バイオテクノロジー学科

中級バイオ技術者認定試験：合格率 100% (うち 1 名が全国 6 位で表彰)

海洋生物学科

小型船舶 2 級、スクーバ C カード、潜水士など

電気技術学科

第一種電気工事士：1 年合格率 90%、2 年 (1 年次で未取得の者) 44%

2 級電気工事施工管理技術検定試験(学科試験)：合格率 92%。

情報システム学科

IT パスポート、基本情報技術者など。

二級自動車整備士コース

2 級ガソリン自動車整備士：合格率 97.7%

2 級ジーゼル自動車整備士：合格率 93.4%

中古車査定士試験：合格率 83%

ガス溶接安全教育：合格率 100%

アーク溶接特別教育：合格率 100%

タイヤ空気充てん作業特別教育：合格率 100%

低圧電気特別教育：合格率 100%

自動二輪車コース

2 級ガソリン整備士 (学科試験) 合格率 100%

アーク溶接特別教育、ガス溶接技能講習など

自動二輪研究科

2 級二輪自動車整備士：合格率 100%

② その他

自然環境学科

標本作製イベントをえぞホネ団 Sapporo と共同開催(8月5日)

電気技術学科

太陽光発電装置を導入し、実習で使用

情報システム学科

Pepper ロボットプログラミング体験を通し、プログラミング言語・システム設計技法の理解力向上が図った。

二級自動車整備士コース

二級自動車整備士コース夜間 募集2年目は9名でスタート。

③ 就職内定率 (H31.5.1 現在)

自然環境学科	100.0%
バイオテクノロジー学科	92.9%
海洋生物学科	95.8%
建築技術学科	76.9%
電気技術学科	100.0%
情報システム学科	88.9%
二級自動車整備士コース学科	97.7%
自動二輪車コース	100.0%
建築研究科	66.7%
自動二輪車研究科	100.0%
専門課程全体	94.0%

④ 課外活動、イベント等の実施状況

文化祭；7月21日(本校舎) 学習発表大会(展示形式)、模擬店、各種イベント

体育祭；10月24日(きたえーる) 競技種目：バスケットボール、フットサル、バドミントン、卓球、借り物障害物リレー

クラブ活動；野球部、バレー部、バドミントン部、自動車部、モータークラブ、水槽部、自転車同好会

校外美化活動；5月から10月まで週1回、クラス毎に実施

IV 財務の概要

1. 事業活動収支計算書

区分		科目	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	351,023,471
		手数料	1,470,310
		経常費等補助金	22,248,024
		雑収入	40,000
		教育活動収入計	374,781,805
	事業活動支出の部	人件費	231,607,805
		教育研究経費	40,883,359
		管理経費	116,010,366
		徴収不能額等	8,375,383
		教育活動支出計	396,876,913
教育活動収支差額			△ 22,095,108
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	1,052
		その他の教育活動外収入	7,333,007
		教育活動外収入計	7,334,059
	事業活動支出の部	借入金等利息	289,396
		教育活動外支出計	289,396
教育活動外収支差額			7,044,663
経常収支差額			△ 15,050,445
特別収支	事業活動収入の部	特別収入計	753,345
	事業活動支出の部	特別支出計	0
	特別収支差額		
基本金組入前当年度収支差額			△ 14,297,100
基本金組入額合計			913,356
当年度収支差額			△ 15,210,456
前年度繰越収支差額			△ 1,124,225,621
基本金取崩額			0
翌年度繰越収支差額			△ 1,139,436,077

2. 貸借対照表

資産の部		(単位 円)
科目	期末残高	
固定資産	2,132,322,591	
有形固定資産	2,131,797,783	
その他の固定資産	524,808	
流動資産	148,258,161	
資産の部合計	2,280,580,752	
負債の部		期末残高
科目	期末残高	
固定負債	30,921,875	
流動負債	242,692,312	
負債の部合計	273,614,187	
純資産の部		期末残高
科目	期末残高	
基本金	3,146,402,642	
繰越収支差額	△ 1,139,436,077	
純資産の部合計	2,006,966,565	
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計		2,280,580,752

注記

減価償却額の累計額の合計額	1,014,604,859 円
徴収不能引当金の合計額	8,375,383 円
担保に供されている資産の種類及び合計額	
土地	1,389,841,174 円
建物	709,329,747 円
年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額	なし

3. 財産目録

科目	
財産額	2,280,580,752
基本財産	2,131,797,783
運用財産	148,782,969
現金預金	144,378,259
その他の運用財産	4,404,710
負債額	273,614,187
固定負債	30,921,875
流動負債	242,692,312
前受金	229,234,000
その他の流動負債	13,458,312
正味財産	2,006,966,565